FUKUOKA POLICE 70th ANNIVERSARY

福岡県警察からのお願い

令和6年8月号

夏季長期休暇におけるセキュリティ対策について

休暇期間は、体制の隙を突いたセキュリティインシデントの発生が懸念され、休暇明けに電子メールの確認量が増える等ウイルスに感染するリスクが高まります。 さらに、連休中は通常とは異なる体制により、対応への遅延や、予期せぬ事象が生じるおそれがあります。このような被害の発生を防止するためにも、**大型連休の前後に以下のチェック項目を確認**しましょう。

管理者向け

休暇前チェック

- □ **緊急連絡体制の確保**
  委託先企業を含めた緊急連絡体制（夜間）や対応手順等が明確になっているか確認しましょう。
- □ **社内ネットワークへの機器接続ルールの確認と遵守**
  休暇中にメンテナンス作業等で社外から社内ネットワークへ機器を接続する予定がある場合は社内の機器接続ルールを事前に確認し遵守しましょう。
- □ **使用しない機器の電源OFF**
  休暇中に使用しないサーバ等の機器は電源をOFFにしましょう。

休暇明けチェック

- □ **修正プログラムの適用**
  休暇明けにOSや各種ソフトウェアの修正プログラムが公開されていないか確認し、必要な修正プログラムを適用しましょう。
- □ **定義ファイルの更新**
  電子メールの送受信やWebサイトの閲覧等を行う前にセキュリティソフトの定義ファイルを更新し、最新の状態にしましょう。
- □ **サーバ等における各種ログの確認**
  不審なアクセスがないか、VPN、ファイアウォール、監視装置等のログやアラートを確認しましょう。

利用者向け（管理者以外）

休暇前チェック

- □ **機器やデータの持ち出しルールの確認と遵守**
  - ○ 社外での対応が必要となるPC等の機器やデータ等を持ち出す際はルールを事前に確認し遵守しましょう。
  - ○ 持ち出した機器の不正プログラム感染や、紛失、盗難による情報漏えい等の被害が発生しないように管理しましょう。
- □ **使用しない機器の電源OFF**
  不正アクセスを防止するため、休暇中に使用しない機器の電源はOFFにしましょう。

【参照/IPA】https://www.ipa.go.jp/security/anshin/heads-up/alert20240801.html

休暇明けチェック

- □ **修正プログラムの適用**
  休暇明けのOS等の修正プログラムの有無を確認し、システム管理者の指示に従い適用しましょう。
- □ **定義ファイルの更新**
  電源を切っていたパソコンはセキュリティソフトの定義ファイルが古い状態のままです。定義ファイルを更新し最新の状態になっていることを確認しましょう。
- □ **持ち出した機器等のウイルスチェック**
  休暇中に持ち出していたPCや外部記録媒体にウイルスが混入していないか、会社内で利用する前にセキュリティソフトでスキャンを行いましょう。
- □ **不審なメールの確認**
  休暇明けはメールが溜まっていることが想定されますので、特に注意してメールチェックを行いましょう。

◆ 福岡県警察本部サイバー犯罪対策課では、最新のサイバー犯罪の手口や対策などをX（旧Twitter）やホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

【X】

【HP】